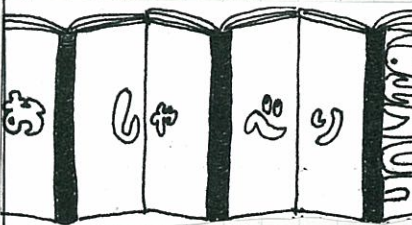


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第7号
 旬の図書館情報をお知らせします 2019年 4月1日号

ぴかぴか
 情報がいっぱい



高校の図書館にある伊坂作品のハードカバーがこれくらいあるのです。
 『終末のワル』でなんか伊坂作品おもしろいかも思っていたところ、『陽気なギャングが地球を回す』と『オデュッセイア』でガッツンとハマりましたね。

本当に好きです。人生の中で5本の指に入る小説。
 伊坂作品は、読みやすいだけでなく、个性的で強烈なキャラが登場おもしろいが多いです。

今回は、今話題の作家、『伊坂幸太郎』の作品について、HONTANメンバーの舞、とおか、職員B子、花蓮の4人が熱く語ってくれました。

私は舞さんとは逆に結構ミステリー読むんですけど、思いがけないところで伏線だったり、会話の言い回しが面白かったり、そういうのに弱い私はイタコロでした(笑)。
 『陽気の〜』は今も大好きな作品です。
 『ロマンはどどこ』は名言です。
 (職員B子) 『アヒルと鴨のコインロッカー』を最初に読みました。

そして、登場人物が放つ台詞が、とても印象に残るものが多く、背中を押してくれます。意外に知られていなさそうなところでいくと、『砂漠』が大好きです。読んでみて下さい。
 (職員B子) 『砂漠』って確かにおもしろくない。どんな話?
 伊坂好きな人は、次はこの作家に進むのがおススメ?

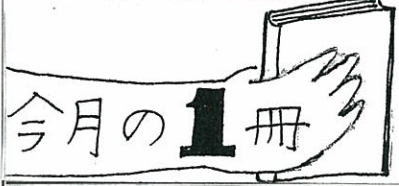
(舞) 初めに読んだのは、『オデュッセイア』だったな。大学1年の時に読みました。あんまりミステリーとか読まないからこういう感じのミステリーなら読めるなって思った。ちよっぴアンタジックっていうか不思議現象があって、人間の感情の行き来もあるから注目がします。

流行の作家を読んでおくか、という義務感から読んだのですが、素直に面白かった。DVDも観ました。こちらもなかなか。謎かけと心理描写が適度なバランスなので、飽きさせず読書慣れしていない人にもおススメできる作家だと思っています。
 (花蓮) 私が最初に読んだのは、『重カピエロ』だったはず。重いテーマで苦手という人もいるようですが、ものすごく感動しました。

伊坂好きな人は、次に進む作家としては、米澤穂信さんがおススメですね。『犬はどどこ』『僕、羊たちの祝宴』などは伏線やどんでん返しが楽しめる傑作です。

みんなが初めて読んだ作品は何ですか?
 (とおか) 私が最初に読んだのは、確か『終末のワル』だったかと...

『本当の絆』とは何か?ということを教えてくれた作品。葛藤を抱えながらもそれをラ



西加奈子 著
 『きりこについて』
 913.6/N

使いますか。自分は正しいと思うことを言っているのに、まわりで否定されたことはありますか。「猫に小判」の本当の意味を知っていますか。
 パパの太い眉、ママのがチャカチャカの歯並びなど、美男美女家系のそれぞれの悪いところをもらってしまったきりこ。しかし、きりこは生まれた時から両親に可愛がられて育ち、自分が「ぶず」であるとは、猫の髭の先ほど思わなかった。

イトに受け止め前向きにとらえる春の姿が、人間を測るためのものさしに何を

Report☆

図書館休憩室
 手前にある掲示板上

にHONTANメンバーが作成した活動報告のポスターを掲示しました。

名前だけ知っているけど活動内容がよくわからないという人もポスターを見て、私たちがどんな活動をしているのかわかってもらえると思います。

今回は私たちが丸善さんにインタビューをしたときの様子や、ハリーポッターについての座談会をおこなった時の内容をポスターにまとめました。

そして、次回の企画展示のテーマは、春をイメージした写真集を掲載する予定です。新年度にふさわしい展示にするつもりなので、皆さん見に来て下さい。(きょう)

きりこの飼ひ猫・ラムセス2世と共に、多くの人(猫)たちを巻き込んで悩み、成長し、最後にきりこが辿りつく結論とは?
 ちよとした皮肉や言い回しに思わず笑ってしまう。きりこを取り巻く人や猫の、小さな優しさや恋に胸が熱くなる、そんな作品です。

<舞>



12PIECES



今回は、もうすぐ春
ですね♪ということで、
「春」がテーマの作品
を大特集。
また、今回だけ「+1」の特別企画です。

花蓮のオスス 瀬尾 まいこ 913.6/S
『戸村飯店青春100連発』
大阪下町、「戸村飯店」対照
的な性格の兄弟が、時に衝突
しながら成長していく物語。

Anneのオスス 森見登美彦 913.6/M
『太陽の塔』
自分の失恋と向き合えない男
の滑稽でちよびり切ない青春
物語。

とおかのオスス 米澤 穂信 913.6/Y
『遠まわりする雛』
春の話に始まり、春の話を
終わる短編集。彼方に芽生える
感情と、その行く先はどこ？

舞のオスス ガース・ウィリアムズ 726.6/W
『しろいうさぎとくろいうさぎ』
タンポポの咲く野原での、小さな
恋の物語。大人になっても大切に
読みたい絵本です。

きゅうのオスス 重松 清 913.6/S
『ステップ』
妻が死んで、父一人娘一人。
幼い娘と一緒に成長する
父の姿を描きます。

ちゅんのオスス 瀬尾 まいこ 913.6/S
『強運の持ち主』
占い師の主人公の生活を
読むことで、日常の中のちよと
した幸せに気付くかもしれません。

max☆bunのオスス 高須 光聖 913.6/T
『あまりかん』
超有名お笑い芸人コンビとの
幼少期から青年期まで綴った
青春物語。

N川のオスス 坂口 幸吾 913.6/S
『桜の森の満開の下。白痴』
満開の桜と生首で遊ぶ少女。
怖いほど美しい。春の光の中ふと
残酷なことを考えちゃうあなたに。

なのかのオスス 江國 香織 913.6/E
『薔薇の木 枇杷
の木 檸檬の木』
タイトルと表紙が可愛らしく、
中身は四角関係以上の恋愛
模様。

ななねんのオスス マイク・セイラー 726.6/T
『ぼちぼちいこか』
なにかに焦ってしまうとき、忘れ
たくない気持ちを描いた絵本。
関西弁の奮闘記もあてきです。

卯月のオスス いわさきちひろ 726.5/C-2
『ちひろ美術館 2 春のふとび』
淡く繊細な色を使って描く、
春をイメージした作品。写真とは
違う、絵のタッチが魅力。

漁火のオスス 宮沢 賢治 918.6 M-I20
『春と修羅』
賢治の世界観が光る。彼の
“心象スケッチ”を心ゆくまで味わ
おう。

職員B3のオスス 4エーフ 982/C
『桜の園』
五月、桜の花咲く庭を眺めな
がら、没落地主一家の会話が
可笑しくも哀しい。

トラムとおかのオスス NO.1
本探力
本屋大賞

「本屋大賞」という賞をご存知
でしょうか？ 全国の新刊書の書
店で働く書店員が「面白か
た」「お客様にお勧めしたい」
と思う本を選ぶこの賞。毎年11月
から4月にかけて選考され、過去

HONTAN
雑誌誌の書評を
紹介☆
Pick up
MAGAZINES

このページは日頃私たちが使っている本屋さんや、
そこで働く書店員さんオススメの本を紹介するページ
です。その中でも、今回は有隣堂アトレ目黒店の店長
前原尚弘さんのおすすめ本の記事に注目！ 前原さんが
紹介した本は『スーポールウォーリン・バフェット伝』
前原さん曰く、「読後は、日程平均が少しだけ気にな
るはず」だそうです。皆さんも一度読んでみては？
『スーポールウォーリン・バフェット伝』(上・下)
リス・シュローダー 著 (289/B-1.2)

には『博士の愛した数式』『ゴールデンランバー』などの有名作
が受賞しています。
さて、7回目となる今年は、一体どの作品が大賞を受賞するの
でしょう...？

4月は新入生が入学して来る季節です。
新入生の皆さん、おめでとうございます。最初の
1ヶ月はわからないことだらけで悩むことも多
いかもしれませんが、1・2ヶ月たつと慣れてき
ますよ。それまでの間は、いろいろな人に尋
ねると良いと思います。
そして、落ち着いた頃でも良いので図書館
に一度来てみて下さい。
きっとあなたに合う本が見つけられる
はずですよ。 <卯月>

